

PTA活動紹介		高P連受付番号	3
PTA(学校)名	愛知県立いなざわ特別支援学校		部門 3
活動テーマ	『進路講話』		
キーワード	福祉事業所・就労相談	先輩親、卒業生の話	卒業後の過ごし方
開催日	令和元年6月4日(火)		
場所	いなざわ特別支援学校 会議室		
時間	午前10時から正午まで		
参加者	保護者:68名(小学部14名、中学部26名、高等部28名)		
趣旨	卒業後の進路先(一般就労、A型・B型就労、生活介護等)の参考として、卒業生をお呼びして話を聞く機会を作りました。今の進路先を決めた決め手は?卒業後、仕事をする以外の日常はどう過ごしているの?どういったサービスを使っているの?等々、学校卒業後の不安解消に少しでも役立てられるために行いました。		
活動ポイント	卒業生4名と保護者の方から順番に今、どういう仕事をしているのか、どう通っているのか、余暇の過ごし方などを聞く。		
主体委員会名・講師名等	【講師】 卒業生4名(一般就労2名、B型就労1名、B型就労→就労移行支援1名) 一般就労した卒業生の保護者1名、進路指導主事		
<p>【活動の経緯】 障害のある子の親にとって、卒業後の就労先やお金(お給金や、年金)のことなどは、学齢期の頃から心配、不安事の一つです。学校の特性上、小中高一貫校のため、ずっと先のことであろう小学部・中学部の親の参加もあります。</p> <p>今回お話をしてくれた卒業生は、学生時代に、部活動を頑張ってやっていたことや毎日学校に通ってきたことの大きさを伝えてくれました。また、親の立場からは、年金の申請時の裏話を聞かせていただきました。実際に経験してきた本人の姿を見たり、お話をきいたりすることで、将来の我が子に重ね合わせることができました。</p> <p>【当日の流れ】 自己紹介→今の生活状況→先生の話→質疑応答 卒業生の親からのお話も聞きました。</p>			
メール送信先	<a href="mailto:info@aichikoupren.org">info@aichikoupren.org</a>		

【当日の様子】

保護者の方にも話を聞きました。20歳になったときに障害者年金を申請する場合、どのように申請するとよいのか、そのためには今から準備をしたらよいものは何かをお聞きすることが出来ました。



進路指導の先生から  
「就労に向けてできること、頑張ることは、まず学校に休まずに通うことです」  
「卒業生がこうして元気でいてくれて、再会できたことがうれしい」



進路講話では、どんな講師をお呼びするとよいだろうか、どんな形で実施するとよいだろうかなどを毎年執行部役員で話し合いながら内容を変えて行っています。  
今年68名という、今までになく大勢の保護者さんに参加していただきました。  
在学中から、相談事業所の人とつながっておくことが大事だとの助言もいただきました。  
要望として、「生活介護」の事業所に通っている人の話が聞けなかったのが残念だった。との感想をいただきました。

一般就労もわかりですが、福祉就労の形態としては、いくつかあり、複雑なこともあり、保護者は不安でいっぱいです。  
その不安を卒業生やその保護者の方からお話を聞くことができ、自分の子どもの将来を想像しながら、これからの就労に対しての方向性が見えてきた人もいたと思います。  
これからも、保護者の要望を聞きながら企画していきたいと思っております。